

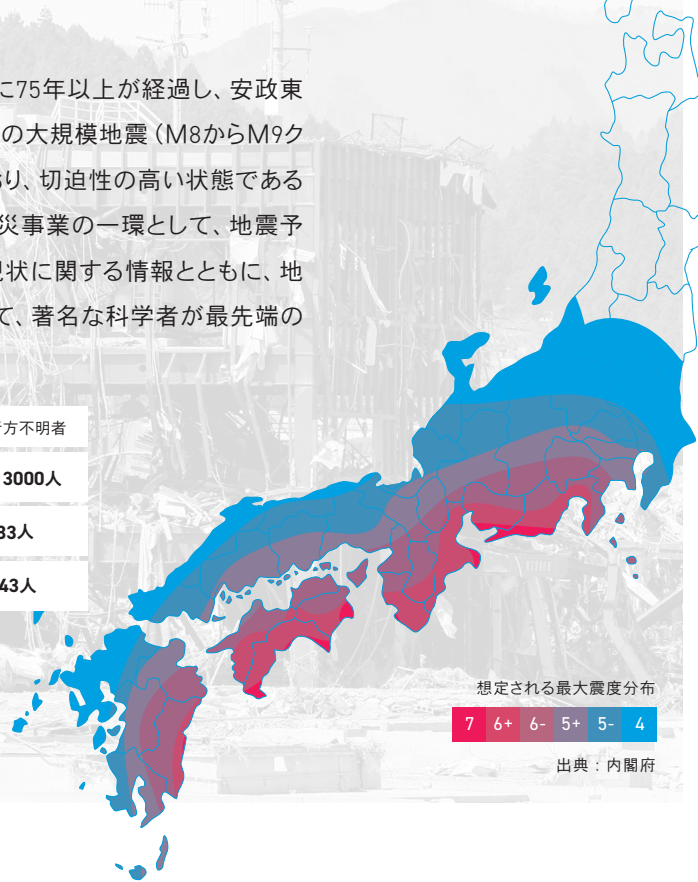
地震予兆研究フォーラム2022

防災担当者
向け

巨大地震への準備

昭和東南海地震(1944年)・昭和南海地震(1946年)の発生から既に75年以上が経過し、安政東海地震(1854年)からは150年以上が経過している。南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、今後30年以内に発生する確率は70~80%と予測されており、切迫性の高い状態であるといわれている。当センターにおいてもこのような地域に対する防災事業の一環として、地震予兆現象に関するフォーラムを開催する。短期地震予知を取り巻く現状に関する情報とともに、地震や火山噴火の前兆として科学的に証明されつつあるものに関して、著名な科学者が最先端の研究内容を紹介する。

過去の南海トラフ地震	発生年月日	M	最大震度	津波の高さ	死者・行方不明者
安政東海地震	1854年12月23日	8.4	7	最大22.7m	2000-3000人
昭和東南海地震	1944年12月7日	7.9	7	8-10m	1,183人
昭和南海地震	1946年12月21日	8.0	6	4-6m	1,443人



2022年1月21日(金)

13:30 - 17:00 [開場 12:30]

静岡商工会議所
静岡事務所会館 5Fホール

先着 150名

参加無料

アクセス

静岡県静岡市葵区黒金町 20-8
静岡駅より徒歩 6分



講演概要

内容は予告なく変更する場合があります

短期地震予知の現状と展望

長尾 年恭

東海大学海洋研究所客員教授

地殻変動・生物学的変化等による地震前兆現象の研究

太田 光明

地震予兆研究センター代表理事

山内 寛之

地震予兆研究センター主任研究員

地震に先行する電磁気学的異常

服部 克巳

千葉大学教授

地震発光/地震前兆現象の発生メカニズム

榎本 祐嗣

信州大学名誉教授

富士山噴火の可能性、予測と前兆

鴨川 仁

静岡県立大学特任准教授

講演者の詳細は裏面へ

開催概要

ご予約はこちら



主催/一般社団法人地震予兆研究センター

後援/一般社団法人日本地震予知学会、学校法人東京農業大学

講演者プロフィール



長尾 年恭 NAGAO Toshiyasu

東海大学海洋研究所客員教授、地震予知・火山津波研究部門統括、認定 NPO 法人「富士山測候所を活用する会」理事、(一社)日本地震予知学会・会長。世界最大の地球物理学研究団体である「国際測地学・地球物理学連合」に設置された「地震・火山噴火に関する電磁現象国際ワーキンググループ」の設立に関わり、現在委員長を務める。地震予知研究、地震防災啓発等を行う。



太田 光明 OTA Mitsuaki

麻布大学名誉教授。1995年1月17日に発生した兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)の前に観られた「宏観現象」のうち、特に動物の異常行動の研究をはじめ、今日に至る。この間、「宏観現象」から、地震予知に成功した中国の海城地震(1975年2月4日、M7.3)の調査を実施。最新の科学と「宏観現象」によって、次に起きるであろう大地震は、必ず予知できると確信。



山内 寛之 YAMAUCHI Hiroyuki

一般社団法人地震予兆研究センター(EPRC)主任研究員。麻布大学獣医学研究科動物応用科学専攻修了。「地震の直前予測へ向けた動物の前兆的行動に関する研究」で博士(学術)取得後、麻布大学にて共同研究員、非常勤講師を経て、2018年よりEPRCに勤務。専門は、生体電磁気学、動物行動学。現在は、動物だけではなく、様々な地震前兆現象(地殻変動、地震活動)についての研究も行う。



服部 克巳 HATTORI Katsumi

1992名古屋大学大学院工学研究科修了(博士(工学))同年富山県立大学工学部助手、1995国立群馬工業高等専門学校講師、1997理化学研究所地震国際フロンティア研究研究員、2001千葉大学海洋バイオシステム研究センター助教授、2006同大学理学部助教授、2009-現在同大学大学院理学研究科教授、2020-現在同大環境リモートセンシング研究センター長。地震電磁気現象の研究に従事。



榎本 祐嗣 ENOMOTO Yuji

信州大学繊維学部構内にある産学連携施設の一室のドアに“Geoscience labo”と貼り紙して、地震に伴う先行現象の共同研究をしています。寺田寅彦が地震研究所設立にあたって寄せた撰文の一節「使命とする所は地震に関する諸現象の科学的探究と直接又は間接に地震に起因する災害の豫防並に軽減方策の探究」が研究の拠りどころ。趣味は、科学史探訪、銘酒の嗜み、信州百湯めぐり。



鴨川 仁 KAMOGAWA Masashi

静岡県立大学グローバル地域センター地震予知部門特任准教授。早稲田大学理工学研究科物理学及応用物理学専攻修了。博士(理学)。専門は、大気電気学、地球電磁気学、物理教育。現在、認定 NPO 法人富士山測候所を活用する会専務理事・事務局長および認定 NPO 法人宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)理事。

開会挨拶



林 省吾 HAYASHI Shogo

一般社団法人地震予兆研究センター理事。一般社団法人地域総合整備財団会長。昭和45年自治省入省。静岡県総務部長等の地方勤務を経て総務省自治財政局長、総務省消防庁長官、総務省事務次官を歴任。

フォーラムについてのお問い合わせ先

一般社団法人地震予兆研究センター

東京都中央区日本橋蛸殻町1-36-2
tel: 03-5847-1863 mail: info@eprc.or.jp
https://eprc.or.jp/



地震予兆研究フォーラムの参加申込はこちらから

申込は WEB でのみ受け付けております

<https://eprc.or.jp/forum2022/>



フォーラムに参加するにはご予約が必要です。上記 URL にアクセスしていただき、ご予約後、主催者からの確定メールをもちまして申込完了となります。なお、定員(150名)になり次第、申込フォームは閉じられます。当日は会場の受付にてお名前を確認いたします。新型コロナウイルス感染症対策の一環で、席は一つずつ空席を設けてのご利用となります。発熱・風邪の症状がある方は入場をお断りさせていただきます。会場では手指の消毒、手洗いの励行とマスクの着用をお願いいたします。今後の感染状況によってはオンライン開催に変更する可能性もあつたことをご了承ください。